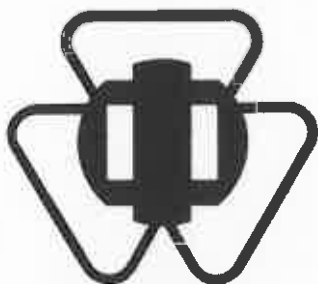


## 校章の由来（修正案）

一中学区の三つの地区、盛、猪川、立根を三つの三角形で表し、その三つの三角形の集まる中心であり頂点に統合中の「中」をなぞらえた。そして、三角形は周辺の山を表し一中生の高き理想を、その間を流れる川のような豊かな心を表している。また、一中のよき伝統が継承、創造、発展されることを象徴している。

（製作者 照井 由郎 氏）

（制定 昭和36年4月）



（修正前＝前回の協議会に提出された総務部会案）

昭和36年4月制定の「由来」の次に、以下を追記する。

〇〇2年4月からの日頃市中、越喜来中、吉浜中の編入統合に伴い、平成30年第一中学校区及び日頃市・越喜来・吉浜地区学校統合推進協議会において、校章の三つの三角形は、日頃市、越喜来、吉浜の三つの地区をも表すこととした。

※〇〇は新元号



（修正案）

昭和36年4月制定の「由来」の次に、以下を追記する。

2020年4月の日頃市中、越喜来中、吉浜中の第一中への編入統合に伴い、校章の「中」は、これまでの盛、猪川、立根の三つの地区で協力しながら築いてきた第一中学校そのものを表すとともに、これに集まる三つの三角形は、日頃市中、越喜来中、吉浜中の三つの中学校であり、新たに学区に加わる日頃市、越喜来、吉浜の三つの地区を指し、更なる飛躍に向けて共に力を合わせていくことを表すこととした。

その他、三つの三角形が意味するところは、昭和36年（1961年）4月制定の由来を踏襲することとした。

（2018年〇月 第一中学校区及び日頃市・越喜来・吉浜地区学校統合推進協議会）